

## 【教育委員会】

## 子どもの安全・見守り対策

## 課題

子どもが被害者となる事案の発生（声かけ、連れ去り、暴力等）



子どもが被害者となるケースは**放課後**に多い

（H27年～H29年累計では、身体犯の発生状況は15時～18時に集中）

- ・共働き家庭の増加
- ・通塾等による子どもの夜間外出機会の増加
- ・学校での対応は限界

## 現在の取組

## 【学校・教育委員会の取組】

## ■安全管理

- ・小学校巡回警備員（スクールガード）の配置
- ・通学路防犯カメラの設置 ・防犯カメラの設置（校内）
- ・不審者対応マニュアルの作成及び訓練実施
- ・学校110番の設置（警察への直通電話）
- ・防犯用具の配備
- ・見守り活動用防犯ベストの配備

## ■安全教育

- ・セーフティ教室…全児童・生徒を対象に年1回実施。犯罪から身を守る方法、連れ去り、情報モラル、非行防止（万引きや薬物乱用など）、自転車の安全な乗り方、防災等を指導

## 【学校・地域・家庭・関係機関等との連携による取組】

- ・安全マップの作成…通学路等の危険箇所の確認・点検
- ・不審者情報の連絡…警察 → 学校 → 保護者へ伝達  
↳ 教育委員会・市
- ・登下校の見守り、パトロール（二小、三小、七小、八小、九小、十三小、十四小、花小、学園東小）  
…学校支援ボランティア、青少対、保護者、教員等による見守り
- ・納涼祭等夜間イベント時の見守り等（五小、六小、七小、十一小）  
…各青少対による独自の見守り
- ・防犯笛の配付…小学校新生児に配付（民間企業より寄附）

## 今後に向けた課題・取組の方向性

## 《現状の課題》

- \* 担い手の高齢化
- \* 関係機関の多忙化
- \* 子どもの安全に関する問題の多様化
- \* 防犯設備・機器類の維持管理・更新 など



## 《今後検討・取り組むべき事項》

- \* ボランティア等を含む人材確保
- \* 隣接自治体との連携
- \* 家庭の意識醸成
- \* 子どもの安全に関わる新たな問題への対応の検討
- \* 都が作成する安全教育プログラムの活用
- \* 校外学習時の不審者対応の想定 など

**警察をはじめとする関係機関を含めた地域全体のネットワーク強化により取組の継続・発展を目指す**

